

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	災害見舞金事業			420395	担当課	社会福祉課			
	開始年度	昭和47(1972)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	時井 博信		
	歳出費目	款) 民生費	項) 災害救助費	目) 災害救助費			決算附属資料	144	頁	
	施策の大綱	地域福祉の充実			関連計画等		-			
	施策名	共に支えあう地域福祉を推進する			根拠法令等		福知山市災害見舞金等交付要領			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()								
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山市において災害により被害を受けた市民に対し、見舞金を支給し必要な援助を講じ、もって市民の福祉及び生活の安定に資することを目的とする。								
	対象者	災害により被害を受けた市民	対象者数	78,612		一人当たりコスト	0.04			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>								
	事業概要	自然災害や火災により被害を受けた市民や、現に住んでいる住居に被害を受けたもの、又は死亡したものの家族に対して、被害の程度に応じた見舞金を支給する。								
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		役務費		郵送料11				11		
扶助費		災害見舞金(火災400、台風18号50、台風21号1490)				1,940				
関連事業										
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		854	568	558	558			
		補正予算等・・・②		0	1,400	3,231	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0	0			
		財源内訳	一般財源		854	1,968	3,789	558		
			国支出金		0	0	0	0		
			府支出金		0	0	0	0		
			地方債		0	0	0	0		
			その他特財		0	0	0	0		
	特定財源名称 (H29実績)							頁		
								頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.18/0	0.18/0	0.37/0	/			
概算人件費・・・④		1,440	1,440	2,960						
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			2,294	3,408	6,749					
執行状況	執行額・・・⑥		261	1,951						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		30.6%	99.1%						
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		制度利用者数	件	5 / 29	90 / 13	/ 12	6			
				/	/	/				
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		制度利用者数	件	5 / 29	90 / 13	/ 12	6			
		単位あたりコスト		52.2	21.7					
			/	/	/					
	単位あたりコスト		0.0	0.0						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・被災時における生活支援として重要な事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・他市の見舞金の支給状況等を比較・検討しながら見舞金を支給をする。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・災害により被災した方に対して速やかに見舞金を支給することにより、福祉及び生活の安定に資することができる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	災害時における見舞金の支給について、一定の役割を果たしたと考える。	
	今後の課題及び方向性	京都府下及び近隣自治体の状況を精査しながら、より有益な見舞金の支給となるよう検討する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<ul style="list-style-type: none"> ・被災直後の体制については市全体でフォローが必要では ・本事業の目的を、生活再建の一助としており、あくまでお見舞金であるため、金額が小額であっても一定の理解をいただいていると考える。 ・見舞金額の設定は、市町村の設定と比較しながら、本市の災害の頻度を鑑みて、額の見直しも今後必要になってくるかもしれない。例えば、床上浸水の額を細分化する等検討の余地がある。 ・大規模な災害時には、制度利用者が増え、対応数や事務量も増えるので、的確な案内や支給が行えるよう、再度、関連部署との連携や事務処理方法などを確認しておいていただきたい。 ・災害発生時は、社会福祉課のみでなく市全体で被災者支援を行うものであり、あくまで見舞金の支出という面のみでみれば妥当かと感じる(今後も他市比較等は必要。) ・個別の本事業のみでなく、関連する災害ボランティア支援事業等での取組(現金支給以外での支援方法の工夫 など)や消防・危機管理・罹災証明発行部門等と綿密な連携を行い、災害発生時の支援体制を整えてもらいたい。 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】			
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	大雨や台風等の水害は地理的要因も大きいため一概に言えないが、本市災害の発生頻度を鑑み、また、他市町の見舞金支給状況も踏まえながら見舞金の支給のあり方について検討する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	債権管理事業 (440115)			担当課	社会福祉課	
	開始年度	平成25(2013)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	時井 博信	
	歳出費目	款) 民生費	項) 社会福祉費	目) 社会福祉総務費	決算附属資料	112	頁
	施策の大綱	地域福祉の充実			関連計画等	-	
	施策名	共に支えあう地域福祉を推進する			根拠法令等	福知山市債権管理条例、滞納金督促条例 等	
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福祉保健部等の公私債権の未納金について、徴収指導や滞納処分等を実施して、徴収率の向上及び公平・公正な債権整理を行うことを目的とする。 また、徴収率の向上及び公平・公正な債権整理を行うために、研修の参加や法令等の解釈を研究し、公金収納研究会等を活用して、本市職員の徴収に係る知識等のスキルアップを図ることを目的とする。					
	対象者	債権全般に係る滞納者	対象者数	78,943	一人当たりコスト	0.15	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 北日本コンピューターサービス株式会社					
	事業概要	徴収嘱託職員による訪問徴収指導 文書及び電話による催告 納付相談 滞納者の生活実態・財産調査 差押・交付要求、法的措置による滞納処分の執行 納付不可能と判断される債権に対する執行停止、徴収停止					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費	
	旅費	債権管理に係る研修会、法律相談 131,700円			132		
	需用費	消耗品一式、燃料費(ガソリン代)等 213,897円			214		
	役務費	郵送料、財産調査に係る手数料、切手 298,927円			299		
	委託料	貸付システム保守 923,400円			923		
	備品購入費、負担金補助及び交付金	レーザープリンター 83,808円、研修参加負担金 31,320円			115		
関連事業							
予算と執行の状況	区 分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算…①	880	2,155	2,101	15,454	
		補正予算等…②	0	0	0	0	
		繰越し等…③	0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源	880	2,057	1,181	10,287	
		国支出金	0	0	0	0	
		府支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	0	98	920	5,167	
	特定財源名称 (H29実績)	災害援護資金貸付金元利収入		98	資金償還金	40 頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.60/2.10	0.60/2.10	2.30/4.00	/		
	概算人件費…④	10,050	10,050	28,400			
総事業費(①+②+③+④)…⑤		10,930	12,205	30,501			
執行状況	執行額…⑥		241	1,683			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		27.4%	78.1%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		滞納処分の実施数	件	30 / 30	35 / 50	/ 50	50
				/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		滞納処分の実施数	件	30 / 30	35 / 50	/ 50	50
		単位あたりコスト		8.0	48.1		
			/	/	/		
	単位あたりコスト		0.0	0.0			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・歳入確保及び公平公正な債権整理を行うためには、重要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・滞納処分か執行停止、徴収停止にするかを見極め、公平公正な債権整理を実施。 ・費用対効果を追求した債権整理を実施。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・公平公正な債権整理を行うことにより、安定した歳入確保ができる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	≪平成29年度滞納処分等の実績≫ (1)差押 ○差押件数 35件(預貯金等27件、給与5件、本市租税公課の還付金3件) ○差押債権額 3,653,057円(介護保険料2,173,790円、保育所保育料566,750円、78条生活保護費徴収金(H26.7.1以降の債権)280,840円、後期高齢者医療保険料631,677円) ○うち、取立した額 28件、1,698,288円 (2)執行停止 ○件数 10件(無財産1件、生活窮迫9件) ○債権額 703,640円 (3)支払督促 ○件数 4件 ○債権額 418,000円 (4)徴収停止 ○件数 8件(居所不明かつ財産調査不能8件) ○債権額 608,210円		
	今後の課題及び方向性	平成29年度から「福祉公債権管理事業」、「くらしの資金等管理事業」、「債権管理等運営一般事業」の3事業を、「債権管理事業」に統合し、債権の性質を見極めながら効率の良い適正な債権整理を実施した。 しかし、非強制徴収公債権や私債権の滞納処分は、裁判所の法的措置が必要で、かなりの時間と労力、予算を要するため、滞納者の納付状況や生活状況等を見極めながら進行管理を行い、計画的に粘り強く債権整理を進める。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】			
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】			
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	予算拡充の要因は、新福祉系システム導入に伴うカスタマイズ費用及びシステムの改元対応費用等によるもので一時的経費である。 【H29棚卸しに係る見直し状況】 平成30年度は係内の事務の見直しを行い、効率の良い債権回収を行うことが出来、職員の時間外勤務の縮減も出来た。 また、市全体の債権管理も当係が担当しており、他課からの徴収困難案件に関する相談を受けて滞納解消に向けて法的措置等一緒に取り組んできた。今後も各課との連携を深めながら安定的な歳入確保を行っていく。 各課は複数業務を抱えていることから徴収事務の負担は大きく、本市の安定的な歳入を確保するためには正職員の増員が必要のため、ハブとなる社会福祉課に正職員1名の増員を要求する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	臨時福祉給付金(経済対策分)事業 (440118)			担当課	社会福祉課		
	開始年度	平成28(2016)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	時井 博信		
	歳出費目	款) 民生費	項) 社会福祉費	目) 社会福祉総務費	決算附属資料	112	頁	
	施策の大綱	地域福祉の充実			関連計画等	-		
	施策名	共に支えあう地域福祉を推進する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	「一億総活躍社会」の実現の加速に向け、社会全体の所得の底上げを図ることが重要であるため、個人消費の下支えにも資するよう、消費税率引上げによる低所得者への負担の影響に鑑み、低所得者に対して平成31年9月までの2年半分を一括して臨時福祉給付金として給付することを目的とする。						
	対象者	基準日(H28.1.1)時点で住民基本台帳に登録されている者等	対象者数	15,000	一人当たりコスト	16.29		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 株式会社ケーケーシー情報システム						
	事業概要	基準日(平成28年1月1日)に住民基本台帳に登録されている方で、平成28年度市民税が課税されていない方、生活保護受給者でない方に対して1人につき15000円を支給する。						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目	具体的な内容				H29経費	
		賃金	臨時職員4名に係る4月～12月分の賃金				3,702	
需用費、役務費		支給事務に係る消耗品一式53,988円、申請書の郵送料、切手2,316,920円				2,371		
委託料		システム改修業務				1,750		
使用料及び賃借料		レーザープリンタ、パソコン、複写機の賃借料				449		
関連事業	負担金補助及び交付金		臨時福祉給付金の支給15,000円×13,250人		198,750			
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算…①	0	0	0	0		
		補正予算等…②	245,859	0	0	0		
		繰越し等…③	△ 242,816	242,816	0	0		
	財源内訳	一般財源	0	0	0	0		
		国支出金	3,043	242,816	0	0		
		府支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他特財	0	0	0	0		
		特定財源名称(H29実績)	臨時福祉給付金(経済対策分)事業(繰越分)		217,316	国補助金	16 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.20/0	0.20/0	0.0/0	/		
概算人件費…④		1,600	1,600	0				
総事業費(①+②+③+④)…⑤		4,643	244,416	0				
執行状況	執行額…⑥		2,654	207,528				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		87.2%	85.5%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		支給対象者数	人	0 / 0	13250 / 14747	/	15000	
				/	/	/		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		支給対象者数	人	0 / 0	13250 / 14747	/	14747	
		単位あたりコスト		0.0	15.7			
		/	/	/				
	単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	政府の閣議決定を受けて、全国自治体が臨時福祉給付金の給付措置を実施。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	厚生労働省が作成した支給要領及びQ&Aに基づき、給付金を支給。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	事業目的・概要に則り、給付金を支給。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	受付期間(平成29年3月27日～8月31日)内に、13734人からの申請を受け付け、13250人に対して1億9875万円の臨時福祉給付金を支給した。	
	今後の課題及び方向性	事業完了		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	平成29年度で事業終了	
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	地域福祉推進事業			440108	担当課	社会福祉課		
	開始年度	平成28(2016)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	大西 健二	
	歳出費目	款) 民生費	項) 社会福祉費	目) 社会福祉総務費	決算附属資料		112	頁	
	施策の大綱	地域福祉の充実			関連計画等	-			
	施策名	共に支えあう地域福祉を推進する			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成29年度に策定した「第3次福知山市地域福祉計画」に基づき、人権尊重を基本に住民相互の理解・補完・協働によって、だれもが安心して暮らせる地域づくりと社会参加を促進するとともに、福祉文化を創造し、ユニバーサル社会の形成を推進する。							
	対象者	全市民		対象者数	78,612		一人当たりコスト	0.09	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 株式会社日本出版							
	事業概要	新しく策定した第3次福知山市地域福祉計画を広く市民に啓発し、地域が互いに支えあえる福祉のまちづくりを「みんなで」取り組めるような仕組み、体制の整備を進める。また、急速な社会状況の変化への柔軟な対応ができるよう、各施策の進行管理及び必要な見直しを講ずる。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費	
		報酬		地域福祉計画策定委員会				684	
報償費		プロポーザル審査会委員報償費				25			
需用費		策定委員会お茶購入				6			
役務費		郵送料				49			
委託料		地域福祉計画策定委託業務				2,754			
関連事業									
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		2,652	3,943	958	351		
		補正予算等・・・②		63	△ 10	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源		715	2,475	958	351		
		国支出金		0	0	0	0		
		府支出金		0	1,458	0	0		
		地方債		0	0	0	0		
		その他特財		2,000	0	0	0		
		特定財源名称 (H29実績)	みらい戦略一括交付金			1,377	府補助金	24 頁	
職員人件費		従事職員数(正職/嘱託)	0.42/0	0.40/0	0.40/0	/			
		概算人件費・・・④	3,360	3,200	3,200				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			6,075	7,133	4,158				
執行状況	執行額・・・⑥			2,473	3,518				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			91.1%	89.4%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		第3次地域福祉計画策定		市民意識の把握	計画策定	進捗管理	4次に向けた評価		
				/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		講演会(手話)の開催		回	1 / 1	4 / 4	-	1	
		単位あたりコスト			2,473.0	879.5			
ボランティアに参加したことがある人の割合		%	-	42.3/54.0	/54.0	54.0			
単位あたりコスト			0.0	83.2					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	全6回の策定委員会を開催し、第3次計画を策定した。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	業者選定にあたってはプロポーザルで行っており、コストも評価点のひとつではあるが、内容を重視している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	昨年度実施のアンケート結果や近年の複合化多様化した地域課題を踏まえ、地域全体で取り組むべき内容や市が包括的に取り組むべき相談体制の構築などについても言及した計画となった。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	市民アンケートやヒアリング、また地域福祉計画策定委員会による市民の意見を反映した第3次計画を策定した。		
	今後の課題及び方向性	新たに策定した第3次地域福祉計画を広く市民に周知・啓発していく。 第3次地域福祉計画で取り組むべきとした地域住民や市の目標の進捗管理を定期的に行いながら、計画が実行性のあるものとする。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3次地域福祉計画がもつ複数の成果指標を統合する指標を作成し、それをもって進捗管理を行うべき。 たとえば、全体の指標のうち、改善している指標はいくらあるか、といった統合指標を、本事業の成果指標にしてはどうか。それをもとに、進捗管理を行う委員会の方々に示し、委員会によって進捗管理ができればと思う。1年でモニタリングできる指標が望ましい。また、業者選定が1社だったということで、価格が高止まりしている可能性がある。今後は複数になるような工夫が必要である。 ・計画策定は完了したので、計画を実施していく策を案じ、効果的なしなかけ作りが必要なのではないか。スピード感をもって。 ・計画策定事業であるが、指標の設定について再考が必要。 ・事業の成果がでるように、進捗管理ができるような仕組みを 		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止/休止</p> <p><input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の見直しなし</p>	<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>業績指標は、有効活用できる統合指標が設定できないか検討する。 必要に応じて地域福祉推進委員会を開催し、課題や具体的方策等についての協議を行うとともに、関係部署と調整を図ることで、順調な計画推進に向け取り組んでいく。 予算減額については、冊子印刷経費に係る印刷製本費及び推進委員会開催に係る報酬の減によるものである。</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H30)</p> <p><input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替</p> <p><input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充</p>	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	社会福祉推進事業 (440101)			担当課	社会福祉課		
	開始年度	昭和26(1951)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	大西 健二		
	歳出費目	款) 民生費	項) 社会福祉費	目) 社会福祉総務費	決算附属資料	110	頁	
	施策の大綱	地域福祉の充実			関連計画等	-		
	施策名	共に支えあう地域福祉を推進する			根拠法令等	社会福祉法		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	・福祉事務所の業務を円滑に進める。 ・近畿ブロック・京都府内の福祉事務所長会議を通じて、各市との情報交換、共有により福祉行政の推進を図る。						
	対象者	近畿・京都府内福祉事務所長 地域医療課、子育て支援課、社会福祉課、高齢者福祉課職員	対象者数	270	一人当たりコスト	42.57		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉						
	事業概要	・福祉事務所長会議等(近畿ブロック都市福祉事務所長連絡協議会、京都府下14市福祉事務所長会議、北部7市福祉事務所長会議)への参加に係る経費。 ・福祉事務所及び地域医療課における維持管理経費。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		報償費・旅費		講師報償費・福祉事務所長会議、地域福祉関係会議、研修等参加			282	
需用費		消耗品費(PPC、プリンターインク等)、印刷製本費(封筒等)			653			
役務費		電話代、郵送料			194			
使用料及び賃借料・備品購入費		コピー代1175、レーザープリンタ購入71			1,247			
負担金補助及び交付金		近畿ブロック都市福祉事務所長連絡協議会会費、研修参加費等			158			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		1,928	2,065	3,766	5,139	
		補正予算等・・・②		717	470	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		2,645	2,505	2,266	5,139	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		0	30	1,500	0	
		特定財源名称 (H29実績)	公社継承土地貸付収入(地域福祉課)		30	貸付収入	30	頁
		社会福祉統計委託金		26	府委託金	28	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.87/0	1.12/0	1.12/0	/	
概算人件費・・・④		6,960	8,960	8,960				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			9,605	11,495	12,726			
執行状況	執行額・・・⑥			2,645	2,534			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			100.0%	100.0%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
				/	/	/		
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		府内14市福祉事務所長会議の開催	回	1 / 1	1 / 1	/ 1	1	
		単位あたりコスト		2,645.0	2,534.0			
北部7市福祉事務所長会議の開催	回	2 / 2	2 / 2	/ 2	2			
単位あたりコスト		1,322.5	1,267.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	福祉行政の円滑な推進のため必要な事務経費である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	福祉事務所長会議を通じて情報を入手し、各市との連携を図る機会となる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	必要最低限の支出に抑えている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	福祉事務所の円滑な運営を進めるとともに、福祉事務所長会議等を通じて情報交換・情報共有を図ることができた。(定性的評価)	
	今後の課題及び方向性	福祉事務所の円滑な運営を進めるために、必要な経費である。 平成30年度から社会福祉法人指導業務事業と社会福祉指定寄附金事業を統合。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	専門的知識・経験等が必要である中で市職員が徹底した指導監査を行うことは非常に困難な現状がある。棚卸し等で事業を見直す中で、監査業務に携わる専門職（公認会計士）を確保し、適正なした指導監査業務を行う。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	福祉バス運営事業 (440104)			担当課	社会福祉課		
	開始年度	平成28(2016)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	大西 健二		
	歳出費目	款) 民生費	項) 社会福祉費	目) 社会福祉総務費	決算附属資料	110・112	頁	
	施策の大綱	地域福祉の充実			関連計画等	-		
	施策名	共に支えあう地域福祉を推進する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	・市主催事業の円滑な運営や災害時等の緊急車両として活用する。 ・リフト付きバスであることから、障害のある方等を対象とする事業の利用を優先する。						
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.04		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 京都ユニオンサービス株式会社・有限会社浅田自動車						
	事業概要	・市所有のリフト付きバス1台の維持管理及び運行に係る調整						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		需用費		タイヤ等消耗品費、修繕料			540	
役務費		自動車損害賠償保険料、廃タイヤ処理手数料、法定点検手数料			139			
委託料		バス運行业務及び車両維持管理業務委託料			254			
公課費		自動車重量税			57			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		3,801	2,071	1,596	1,595	
		補正予算等・・・②		492	△ 130	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		4,293	1,941	1,596	1,595	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		0	0	0	0	
		特定財源名称 (H29実績)	広報バス売払い金			289	売払金	34 頁
		自動車損害共済返戻金			3	共済返戻金	48 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.16/0	0.14/0	0.14/0	/	
概算人件費・・・④		1,280	1,120	1,120				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			5,573	3,061	2,716			
執行状況	執行額・・・⑥		4,119	990				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		95.9%	51.0%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		利用者数(福祉バス)	人	4183/5000	5716/5000	/5700	5700	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		稼働日数(福祉バス)	回	159 / 200	141 / 200	/ 200	200	
		単位あたりコスト		25.9	7.0			
			/	/	/			
	単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	利用ニーズはあるが、民間を活用することが可能である。但し、リフト付きバスを保有する民間事業者は市内には無い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	×	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	×	バスの老朽化に伴う修理費用・部品取替え等の負担が増大している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	×	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	障害のある人の社会参加を促進するうえで有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	×	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	今年度から市主催事業のみの利用としたこともあり、稼働日数は指標には達していないものの、いずれも福祉バスの利用を前提として企画されている市主催事業でありニーズは高い。利用者数は目標値に達したことから、目標稼働日数に対する80%乗車人数で目標値を設定しなおした。		
今後の課題及び方向性	本事業については、平成28年度の事業棚卸し対象事業であり、平成29年度予算計上にあたって、広報バス1台を廃車とし、また法令順守の観点から福祉団体への貸し出しは原則行わないこととした。福祉バスについては、車椅子仕様であることから、障害のある人の外出支援を優先して活用するとともに、貸し出しを行っていた福祉団体に対して激変緩和の観点から新たに補助制度を設けた。今後はその必要性を見極めていく必要がある。また、福祉バスも老朽化していることから、運行不能となった際に買換えるのか後は市でバスを所有しないのかの検討が必要。			
庁内及び外部による評価	所 見			
	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】			
三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見			
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	同事業は、これまで2台あったバスを1台に、また福祉関係団体への貸出の取りやめ等、大幅な見直しを図ってきた。今後も市主催事業のみの運行を徹底し、安全・適正なバス運行を行っていく。	
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】		
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	社会福祉協議会活動費等補助事業 (440107)			担当課	社会福祉課		
	開始年度	平成28(2016)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	大西 健二		
	歳出費目	款) 民生費	項) 社会福祉費	目) 社会福祉総務費	決算附属資料	112	頁	
	施策の大綱	地域福祉の充実			関連計画等	-		
	施策名	共に支えあう地域福祉を推進する			根拠法令等	社会福祉法		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	地域における生活課題や福祉課題の解決に向けて具体的な取組を進めることにより、誰もが住み慣れた地域で心豊かに安心して生活できる、お互いに支え合い・助け合う地域福祉のまちづくりを推進する。						
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.62		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉						
	事業概要	本市の地域福祉の推進の重要な役割を担っている福知山市社会福祉協議会に対し、その運営及び活動に係る経費を支援することにより、安定を図るとともに、本市の地域福祉を推進する。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		補助金		社会福祉協議会運営費及び活動費			47,724	
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		52,442	47,724	47,724	47,724	
		補正予算等・・・②		0	0	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
		財源内訳	一般財源		52,442	47,724	47,724	47,724
			国支出金		0	0	0	0
			府支出金		0	0	0	0
			地方債		0	0	0	0
			その他特財		0	0	0	0
	特定財源名称 (H29実績)						頁	
							頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.12/0	0.13/0	0.13/0	/		
	概算人件費・・・④		960	1,040	1,040			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			53,402	48,764	48,764			
執行状況	執行額・・・⑥		52,428	47,724				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		高齢者ふれあいいきいきサロン延べ参加者数	人	24360/41500	24708/41500	/41500	41500(のべ)	
		福知山市ボランティアセンターへの加入者数	人	1794/2800	1327/2800	/2800	2800(累計)	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		高齢者ふれあいいきいきサロン実施箇所数	箇所	145 / 160	159 / 160	/ 160	160	
		単位あたりコスト		361.6	300.2			
			/	/	/			
	単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・社会福祉協議会は、地域福祉の推進の中心的な役割を担っており、国において、地域課題を地域住民が主体的に解決する体制づくりが加速しているなかで、その活動に対する期待は大きい。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・社会福祉協議会は、地域福祉の推進を具体的に進めるための地域福祉活動計画を策定しており、市計画と連携した取組が可能である。 ・他の委託費や補助金との重複がないか等、人件費について詳細に確認をすることで補助対象経費の精査に努めている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・地域福祉の推進状況については、その成果が数値だけでは測りにくいところがあるため、十分に把握ができていない。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	社会福祉協議会は地域福祉を推進する団体としての役割は大きく、数値は達成していないものの地域の福祉課題の解決に向けた取組は評価できる。しかしながら、地域住民が必要とする支援がなされているかどうかなど成果や効果については把握ができていない。	
	今後の課題及び方向性	社会福祉協議会は、地域福祉を担う人材の発掘や育成を図るうえで重要な役割を担っている団体であり、引き続き本市の地域福祉の推進のため連携・協力・支援を行っていく。しかしながら、その活動内容が住民のニーズを反映し、利用しやすい、また充実したものとなっているかを検証していく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	棚卸しを受け、平成29年度から一部は事業（活動）費補助とするよう見直しを図っている。今後においても、社協が地域福祉活動のプラットフォームとしての機能を果たすための補助を行っていく。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	総合福祉会館等施設管理事業 (440204)			担当課	社会福祉課		
	開始年度	平成28(2016)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	大西 健二		
	歳出費目	款) 民生費	項) 社会福祉費	目) 社会福祉総務費	決算附属資料	114	頁	
	施策の大綱	地域福祉の充実			関連計画等	-		
	施策名	共に支えあう地域福祉を推進する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	総合福祉会館を活用し、市民の福祉・文化・健康の増進及び向上を図る。						
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.07		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	総合福祉会館他所管する施設の維持管理経費						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		需用費		施設修繕料(ふれあいの里福祉センター・総合福祉会館他)			550	
役務費		所管施設建物共済保険料、総合福祉会館漏水非常灯点検他			102			
使用料及び賃借料		総合福祉会館暖房機借上料、ふれあいの里土地賃借料他			224			
備品購入費		総合福祉会館AED、社協大江支所事務所移転パーティー			921			
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		5,244	5,427	18,891	18,984	
		補正予算等・・・②		△ 4,145	△ 3,573	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
		財源内訳	一般財源		374	1,854	16,589	18,984
			国支出金		0	0	0	0
			府支出金		0	0	0	0
			地方債		0	0	0	0
	その他特財		725	0	2,302	0		
	特定財源名称(H29実績)					頁		
						頁		
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.14/0	0.43/0	0.43/0	/		
	概算人件費・・・④		1,120	3,440	3,440			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			2,219	5,294	22,331			
執行状況	執行額・・・⑥		1,056	1,797				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		96.1%	96.9%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		総合福祉会館の福祉利用率	%	61.5/80	62.4/80	/80	80	
				/	/	/		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		総合福祉会館利用者数	人	32191/35000	26444/35000	/35000	35000	
		単位あたりコスト		0.0	0.1			
			/	/	/			
	単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	総合福祉会館が老朽化、バリアフリー化が十分でないため、現在は利用者が限られている状況にある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	指定管理による運営を行っており、コスト削減が見込める。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	民間のノウハウを有効活用することができるが、他にも類似施設があり利用者が限定されている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	近隣に夜久野ふれあいプラザ、夜久野町農業者トレーニングセンター、学校施設など類似施設があり利用者が減少傾向にあった夜久野ふれあいの里の2施設(夜久野町ふれあいの里福祉センター・夜久野町ふれあいの里ミニデイサービスセンター)については、公共施設マネジメント計画に則り民間への委譲を行なった。	
	今後の課題及び方向性	≪総合福祉会館等指定管理事業を統合≫ 総合福祉会館については、平成30年度～2か年で耐震工事を含めた施設改修を行い、施設の安全性の確保と利用者の利便性の向上を図る。 老朽化により委譲できず普通財産として残った夜久野ふれあいの里多目的広場については、普通財産の貸付により有効活用を図りながら施設のあり方について検討を行う。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内容 平成31年度で総合福祉会館の現指定管理期間が終了することから、次期契約における施設の積極的な活用や有効利用に向け、関係課と協議検討していく。 【H29棚卸しに係る見直し状況】 指定管理者において、広報誌・ホームページでの広報活動やマスメディアの活用、福祉会館を拠点とした事業・行事を企画開催するなど、福祉利用をはじめとした利用者増加に向けた取組を行っている。 平成30年度から、総合福祉会館等指定管理事業を統合。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	福祉施設改修事業 (440210)			担当課	社会福祉課		
	開始年度	平成28(2016)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	大西 健二		
	歳出費目	款) 民生費	項) 社会福祉費	目) 社会福祉総務費	決算附属資料	114	頁	
	施策の大綱	地域福祉の充実			関連計画等	-		
	施策名	共に支えあう地域福祉を推進する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民の福祉・文化・健康の増進及び向上を図るため、総合福祉会館等の老朽した施設を改修・耐震化・解体することで、利用者の利便性・安全性を図り、有効な施設活用を推進する。						
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.25		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 株式会社日匠設計・株式会社赤井土木・オカモトデンキ株式会社						
	事業概要	総合福祉会館の大規模改修工事及びふれあいの里体育館の解体工事設計委託						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		需用費		ふれあいの里網戸修繕、雨樋、自動扉修繕料			1,149	
委託料		工事実施設計			16,933			
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		648	29,186	320,800	199,200	
		補正予算等・・・②		957	△ 10,060	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
		財源内訳	一般財源		1,605	726	0	10,000
			国支出金		0	0	0	0
			府支出金		0	0	0	0
			地方債		0	17,900	317,100	189,200
			その他特財		0	500	3,700	0
			特定財源名称 (H29実績)		福祉施設改修事業(緊急防災・減災)		13,900	市債
			福祉施設改修事業基金繰入		500	基金繰入金	38 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.04/0	0.09/0	0.09/0	/	
概算人件費・・・④		320	720	720				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			1,925	19,846	321,520			
執行状況	執行額・・・⑥		1,605	18,082				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	94.5%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		工事設計実施件数	件	-	2 / 2	-	-	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		改修対象施設数	施設	2 / 2	2 / 2	/ 2	0	
		単位あたりコスト		802.5	9,041.0			
			/	/	/			
	単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	総合福祉会館が老朽化、バリアフリー化が十分でないため、現在は利用者が限られている状況にある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	指定管理による運営を行っており、コスト削減が見込める。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	民間のノウハウを有効活用することができるが、他にも類似施設があり利用者が限定されている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	近隣に夜久野ふれあいプラザ、夜久野町農業者トレーニングセンター、学校施設など類似施設があり利用者が減少傾向にあった夜久野ふれあいの里の2施設(夜久野町ふれあいの里福祉センター・夜久野町ふれあいの里ミニデイサービスセンター)については、公共施設マネジメント計画に則り民間への委譲を行なった。	
	今後の課題及び方向性	総合福祉会館については、平成30年度～26年で耐震工事を含めた施設改修を行い、施設の安全性の確保と利用者の利便性の向上を図る。 老朽化により委譲できず普通財産として残った夜久野ふれあいの里多目的広場については、普通財産の貸付により有効活用を図りながら施設のあり方について検討を行う。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 総合福祉会館は、施設の安全性の確保と利用者の利便性の向上を図るため、平成30年度に引き続いて耐震及び改修工事を行い、平成31年度末の完成を目指す。夜久野ふれあいの里一体の土地建物については、当面普通財産の貸付により有効活用を図っていく。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	社会福祉指定寄附金事業 (440109)			担当課	社会福祉課		
	開始年度	平成4(1992)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	大西 健二		
	歳出費目	款) 民生費	項) 社会福祉費	目) 社会福祉総務費	決算附属資料	112	頁	
	施策の大綱	地域福祉の充実			関連計画等	-		
	施策名	共に支えあう地域福祉を推進する			根拠法令等	福知山市地域福祉基金条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	寄附金を地域福祉基金に積み立てることにより、今後の社会福祉事業の増進を図ることにつなげる。						
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.03		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉						
	事業概要	社会福祉のためにと寄せられた個人や団体等からの寄附金を地域福祉基金として積み立て、市福祉関係事業の財源とする。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		積立金		寄附金の地域福祉基金への積立			1,803	
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算…①		1,500	1,500	-	-	
		補正予算等…②		0	303	-	-	
		繰越し等…③		0	0	-	-	
		財源内訳	一般財源		0	303	-	-
			国支出金		0	0	-	-
			府支出金		0	0	-	-
			地方債		0	0	-	-
			その他特財		1,500	1,500	-	-
		特定財源名称 (H29実績)		社会福祉指定寄附金		1,803	寄附金	34 頁
							頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.03/0	0.06/0	-	/	
概算人件費…④		240	480	-	-			
総事業費(①+②+③+④)…⑤			1,740	2,283	-	-		
執行状況	執行額…⑥		587	1,803	-	-		
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		39.1%	100.0%	-	-		
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		基金取崩件数	件	4 / 2	4 / 2	-	-	
				/	/	/	-	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		寄附件数	件	7 / 7	7 / 7	-	-	
		単位あたりコスト		83.9	257.6	-	-	
			/	/	/	-		
			単位あたりコスト				-	

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	社会福祉のためにと寄せられた個人や団体等からの寄附金を地域福祉基金として積み立て、市福祉関係事業の財源とすることには意義がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	社会福祉のためにと寄せられた個人や団体等からの寄附金を地域福祉基金として積み立て、市福祉関係事業の財源とすることは効率的である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	社会福祉のためにと寄せられた個人や団体等からの寄附金を地域福祉基金として積み立て、市福祉関係事業の財源とすることは有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	社会福祉の目的での使用に限定されており、社会福祉の増進につなげるためには基金として積み立てることが有効である。	
	今後の課題及び方向性	社会福祉の増進につなげていくためには、基金の有効な活用方法について関係課で検討する必要がある。H30年度 社会福祉推進事業に統合。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内容 平成30年度から社会福祉推進事業に統合。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	総合福祉会館等指定管理事業 (440206)			担当課	社会福祉課		
	開始年度	昭和51(1976)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	大西 健二		
	歳出費目	款) 民生費	項) 社会福祉費	目) 社会福祉総務費	決算附属資料	114	頁	
	施策の大綱	地域福祉の充実			関連計画等	-		
	施策名	共に支えあう地域福祉を推進する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	施設の有効利用及び活用を図る。						
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.32		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 総合福祉会館・・・(福)福知山市社会福祉協議会、夜久野町ふれあいの里・・・(福)仙人福祉事業会						
	事業概要	総合福祉会館及び夜久野町ふれあいの里(福祉センター、多目的広場、体育館、ミニデイサービスセンター)の指定管理に係る経費						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		委託料		総合福祉会館及びふれあいの里指定管理料			24,802	
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		24,802	24,802	-	-	
		補正予算等・・・②		0	0	-	-	
		繰越し等・・・③		0	0	-	-	
		財源内訳	一般財源		22,054	22,511	-	-
			国支出金		0	0	-	-
			府支出金		0	0	-	-
			地方債		0	0	-	-
			その他特財		2,748	2,291	-	-
			特定財源名称 (H29実績)		総合福祉会館光熱水費		1,175	光熱水費
			土地建物貸付収入		726	貸付収入	30 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.06/0	0.09/0	/	/	
		概算人件費・・・④		480	720	-	-	
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			25,282	25,522	-	-		
執行状況	執行額・・・⑥		24,802	24,802	-	-		
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%	-	-		
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		総合福祉会館利用者数	人	32,191/35,000	26,444/35,000	-	-	
		夜久野町ふれあいの里利用者数	人	9261/13000	11176/13000	-	-	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		指定管理者との協定締結数	件	2/2	2/2	-	-	
		単位あたりコスト		12,401.0	12,401.0	-	-	
			/	/	-	-		
	単位あたりコスト		0.0	0.0	-	-		

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	いずれの施設も老朽化、バリアフリー化が十分でない箇所もあり、利用者が限られている状況にある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	いずれの施設も指定管理による運営を行っており、コスト削減が見込める。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	民間のノウハウを有効活用することができるが、他にも類似施設があり利用者が限定されている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	福知山市マネジメント計画に則り、今年度夜久野町ふれあいの里施設について民間譲渡を行なった。(4施設中福祉センター及びミニデイサービスセンターを譲渡。体育館はH30年度で解体。多目的広場は普通財産として存続) 老朽化した総合福祉会館の耐震化を含む施設延命化と福祉施設としての機能アップに向け、大規模改修のための設計を行なった。	
	今後の課題及び方向性	総合福祉会館については、平成30年度に耐震工事を含めた施設改修を行い、施設の安全性の確保と利用者の利便性の向上を図る。改修後は、指定管理者に対し積極的に自主事業を実施する事により福祉施設としての利用促進につなげる事を、協定等に盛り込むことを検討する。 普通財産として残った夜久野町ふれあいの里多目的広場については、社会福祉法人に貸付を行ないながら、今後の施設のあり方について検討する。H30年度 総合福祉会館等管理事業に統合する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	平成30年度から総合福祉会館等施設管理事業に統合。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		